

# 100万アイテムへ笑顔で邁進

FBI  
フォーカス  
West

## サンコーインダストリー

あらゆる産業で使用され「産業の塩」と呼ばれるねじ。このねじをメインに60万点にもおよぶアイテムを取りそろえ、小売店など取引先のニーズに応じて信頼を勝ち取っているのが、ファスニング製品の専門商社「サンコーインダストリー」だ。

同社は1946年、大阪市北区で木ねじ専門問屋として創業した。その後の時代の移り変わり、とニーズに合わせ、家電製品や産業機械・設備向けに取引先を拡大。また、形や材質、長さなどが異なる多種多様なねじを取り扱う「ねじの専門商社」へと成長した。

同社の強みは取り扱いアイテム数だけではない。89年、大阪府東大阪市に物流センターを開設し、物流システムの近代・合理化を進めた。2000年にいち早く、バーコード検品システムを導入。07年にはパレット自動倉庫を建設した。

今年9月17日には同センターの新しい倉庫棟が稼働。在庫数の増加に加え、より効率的に商

品を仕分けし、出荷するシステムをさらに強化した。

今では事務用品やネット販売で常識となっている「翌日配達」だが、同社は90年代から注文を受けた商品を当日出荷し、翌日には小売店に届ける翌日配達を実施。取引先からの信頼を得ている。

12年に社長に就任した奥山淑英氏一写真は「サンコーさん  
にないねじは日本  
のどこを探しても  
ない、とよく言わ  
れます」と胸を張  
る。13年2月期の売上高は約  
190億円を計上した。

ねじに加え砥石や安全靴といった機械工具関連商品や消費財など、月間5000アイテムのペースで取り扱い製品を増やしている。奥山社長は「10年以内に100万アイテムを目指したい」と飛躍に邁進する考えだ。また、製品の自社開発にも力を入れる。08年にゆるみ止め効果を発揮する「エイトロックワッシャー」を開発して売り出した。



本 社 大阪市西区立売堀1-9-28  
電 話 06・6539・3535  
資 本 金 1億9785万円  
設 立 1948年3月  
事業内容 ねじ、ボルトなどファスニング製品ほかの  
流通・販売

「着実に取り組んでいきたい」と奥山社長は意欲を見せる。

同社の本社社屋にはトレーニングジムがあるほか、パーカウターや暖炉が設置。社員は健康維持やリラックスするために

使っている。

奥山社長は「ねじが好きで入ってくる社員はいません。だからこそサンコーインダストリーという会社を好きになってもらいたい」と福利厚生、教育研

修、TQC（統合的品質管理）活動などによって人材育成に力を入れている。

奥山社長が口にするスローガンは「遊んでいるように仕事をし、当然のように成果を上げる」。笑顔を保ち、遊び心を持って仕事をすすめるほうが成果はあがるという。

豊富なアイテム数と即納を武器に社員一丸となって成長するサンコーインダストリー。100万アイテムを達成するのも遠い先ではない。

即納を支えるサンコーインダストリーの  
東大阪物流センター―大阪府東大阪市